

波と風



独立行政法人国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 TEL0823-22-3111 (夜間・休日 TEL23-1020)
https://kure.hosp.go.jp/ 発行責任者 呉医療センター院長 下瀬省二

2019
JULY

vol.48

令和元年7月



呉医療センター・中国がんセンター 理念 Basic Principle of Our Hospital

相手の心情に寄り添う愛のある医療を
笑顔で実践します
*Practice medicine from the heart,
create smiles every day*

運営方針 Management Policy of Our Hospital

LOVE and SMILES

Live healthy	健康的な人生を応援します
Own your personal health	疾病予防を支援します
Value an amiable, cordial atmosphere	いかなる暴言・暴力も許しません
Ensure effective medical services	安心・安全で効果的な医療を目指します
Accelerate good work practices	働きやすい職場環境を促進します
Nurture quality hospital management	健全な病院運営をします
Demonstrate partnership with local medical services	地域医療と緊密に連携します
Secure safety first	安全を最優先します
Minimize adverse events	副作用や合併症を最小限にします
Invest in staff education	優秀で国際的な医療者を育成します
Lead in life expectancy results	人命を尊重します
Engage and care for patients	相手の心情に寄り添います
Surpass expectations	チーム医療をおこないます

CONTENTS

- P.2~8 就任あいさつ
- P.9 診療科紹介 小児科
- P.10 診療科紹介 腎臓内科
- P.11~12 診療科紹介 皮膚科
- P.13 職場紹介 7A 病棟
- P.14 平成31年度 永年勤続表彰・平成31年度 辞令交付式
- P.15 ふれあい看護体験を開催しました
- P.16 入学式を終えて
- P.17 多職種協働で行うマラソン大会医務室ボランティアの取り組み
- P.18 うちの部署の接遇キラリさん
- P.19 食中毒に気を付けよう！！
- P.20 医療技術研修センター
- P.21 連携病院紹介(よねくら小児科)
- P.22 摂食・嚥下障害看護認定看護師としての活動
- P.23 2020年度 看護師・助産師募集
- P.24 独立行政法人国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校
令和2年度学生募集のお知らせ
- P.24 編集後記



就任のご挨拶

統括診療部長 大庭 信二

この度、平成31年4月1日付けで、統括診療部長の職を拝命いたしました。脳神経外科科長兼務となりますので、これまで同様引き続き宜しくお願い致します。

私は平成19年1月に当院へ脳神経外科科長として赴任してきました。院内活動としては当初、病床管理委員会委員長と臓器移植対策委員会委員長を任されました。その後平成21年度からリスクマネジメント部会委員長を任せ、転倒転落防止講習会や医療安全講習会（患者誤認予防・暴言暴力対策等）の企画などを行い今年まで活動してきました。また、平成26年10月から医療技術研修センター部長となり、シミュレーション医学の大切さを学ばせていただきました。さらに、同時期に教育企画室長も任せ、蒲刈での宿泊研修の企画を担当し、主に『コーチング』の重要性を職員の皆様と共に勉強してきました。臓器移植対策委員長としては、現在も広島県から「院内移植コーディネーター」として任命を受けています。当院におきましては、脳死下臓器提供はこれまで4名の方々から受けています。いずれの症例におきましても臓器提供にご理解を示してくださったご家族の皆様と院内の各部署の皆様の献身的なご協力のおかげで滞りなく摘出・移植が達成されました。4名は少ないようですが、広島大学関連施設の中では最も多い施設となります。私は呉医療センターでこのような活動を成しえたことを大変誇りに思います。

呉医療センター・中国がんセンターの認可病床数は一般650床、精神50床ですが、現在の稼働数は一般580床、精神50床であり、70床少なくしての病床運用を行っています。呉市の総人口は平成22年（2010年）の26万7千人から徐々に減少しており、令和元年（2019年）の時点では23万人台となっています。団塊の世代が75歳になるとされている2025年前後の医療必要度の変化をみると、呉医療圏の医療需要は2015年から2025年にかけて約6%減少し、介護の需要も2025年をピークに減少に傾くこととなります。呉医療圏の2025年必要病床数予測は高度が過剰・急性期がほぼ同数・慢性期が過少との予測も出ています。呉医療センターもこういった変化への対応が迫られています。

右肩上がりだった医療需要に陰りがみられる時代において、医療現場に求められることはやはり良質な医療であると思っています。私の信条は常に“そこに正義があるのか”と問いかけることです。そうすれば、医療行為が間違った方向に進まないと感じています。これからも、微力ではございますが呉医療センターに献身していく所存でございますので、ご支援・ご指導のほど宜しくお願いいたします。



中央診断センター部長を拝命して

中央診断センター部長 濱田 宜和

平成31年4月1日より中央診断センター部長を拝命した濱田宜和です。よろしくお願い申し上げます。中央診断センターには現在、病理診断科、検査科のほかにリウマチ・膠原病科があります。前二科についてはフル活動しており特に問題はないと思われま。リウマチ・膠原病科については現在発展途上にあり、科の立ち上げを病院に申請した私としては、科の発展に尽力する責任があります。

私は平成23年4月に当院に整形外科科長として赴任しました。専門はリウマチ関節外科です。それまで、呉地区にリウマチ・膠原病を専門とする医療機関はなく、診断・治療に難渋する患者さんを抱える開業医の先生方は、やむなく広島や東広島など遠方の専門病院に紹介されていました。これは、患者さんにとっても大変不都合

なことであり、これを解消すべく広島大学病院リウマチ・膠原病科と協議を重ね、平成24年4月から当院で非常勤医によるリウマチ・膠原病診療を開始しています。当初は、木曜日午前中だけの診療でしたが、紹介患者数は年々増加しており、現在は月曜・木曜両日の1日診療としています。広島大学病院からの非常勤医師の診療ですので、重症例は広大病院に入院してもらっています。この点では患者さんには迷惑をかけており、是非非常勤医を確保したいところです。これが私の最大の責任事項と心得ています。

将来的に当院が呉地区のリウマチ・膠原病センター的役割を果たせる科とすることで、中央診断センターの底上げを図る所存です。関係者の皆様にはご支援よろしくお願い申し上げます。



医療技術研修センター部長に就任して

呉医療センター・中国がんセンター医療技術研修センター部長 繁田 正信

2019年4月より、センター部長を拝命致しました。当センターは、昨年1年間で115回の実習を行っております。医師、看護師、薬剤師、看護学生、放射線技師など、当院内外から幅広い、多くの方に参加していただき、呉地域における医療技術の進歩に貢献させて頂いて

おります。これからも副センター長 清水洋祐医師、スタッフ 高濱賢一氏とともに、より一層、呉医療圏における医療技術研修センターとして皆様に貢献できるよう努めていく所存ですので、宜しくお願い致します。



就任のご挨拶

中央放射線センター部長 豊田 尚之

～患者さんにとって最適の放射線診療が行えるように～

はじめに

2019年4月より、濱田前センター部長から中央放射線センター部長を引き継ぎました豊田と申します。

現在、当院の放射線科は、放射線診断科に6名の医師、放射線腫瘍科に2名の医師、放射線技師27名、看護師9名、事務5名と大所帯です。

放射線科は病院内の中核部門の一つであり、各科の医師をはじめ、多くの医療職から信頼を得ている職場ですが、一方で患者さんや一般の方に、その存在やどんなことをしているのかを説明するのに苦労することが多い職場でもあります。最近フジテレビで「ラジエーションハウス」という放射線科を扱ったドラマが放映されました。ドラマですから、かなり？に思う場面も見受けられますが、言葉よりもはるかに理解しやすくなっているのも事実です。ご興味のある方は一度ご覧になってみてください。

放射線診断科

この4月から後期研修医2名が加わり6名となりました。私が10年前当科に赴任した当初は3名でしたので、やっと普通の放射線診断科になれたと感慨深く感じています。

放射線診断科の仕事は、画像診断とIVR（カテーテル治療のことです）の2本立てです。画像診断はCT、MRI、PETを含めた核医学、マンモグラフィーが中心です。レポート作成は1～2時間以内、緊急であれば30分以内には作成するよう心掛けています。

IVRは主に肝癌に対する塞栓術が主体ですが、その他に生検や膿瘍ドレナージなど、治療手技は多岐にわたります。

また当院は3次救急施設でもあるため、休日や冬休みなどの長期休暇中も毎日必ず1名が出勤し、緊急で撮影されたCTやMRIの所見を作成しています。また夜間・休日を含め、消化管出血や外傷による出血、産科出血などに対する緊急の塞栓術に対しても1年365日24時間対応しています。

放射線腫瘍科

放射線腫瘍科においても4月から1名増員で、ようやく2名体制となりました。幸医師が主体となり、IMRT（強度変調放射線治療）を積極的に推進する体制が整いました。放射線治療は癌治療の3本柱の一つであり、がんセンターには欠かせない部門であります。低侵襲でもあり、何よりピンポイントで癌を治療出来るのがIMRTの最大のメリットです。詳しくは放射線腫瘍科にご相談頂ければと思います。

放射線技師部門

当院の放射線技師は、レントゲン写真をはじめ、CTやMRIなどの検査終了後に気持ちよく患者さんに帰って頂けるよう、丁寧な撮影業務を心がけています。放射線科で行われる検査において患者さんはとかく不安になりがちであり、多少の苦痛を伴う場合もあります。極力その不安をやわらげ、検査が終わった時に不愉快な気分とならないよう心掛けています。

各部門にはそれぞれ専門の主任技師が配属されていますが、一方で多くの技師が各部門をローテートすることで、高い専門性を維持しつつも、各技師のトータルな技量を維持・増進し、さらには次世代の技師の育成にも力を入れています。

地域医療連携

開業医の先生方や、近隣の医療施設の皆様からは、日頃、CT、MRI、PET、RI、超音波、マンモグラフィー、骨密度など、多くの患者さんのご紹介を頂き誠に有難うございます。ご紹介頂いた患者さんの読影所見は迅速に作成し、当日にファックス、翌日にはCDと共に返送させて頂いております。

また検査中、急性期脳梗塞や脳出血、肺塞栓、気胸、虫垂炎、消化管穿孔など、緊急の治療が必要な疾患を見つけた場合には、当院の救急部や該当各科に迅速に連絡し、緊急入院などの迅速な対応を心がけております。どうか安心してご紹介頂ければと思います。

教育

実は当放射線科を含め当院では、学生や新人に対する教育の占める割合が少なくありません。これは医師や技師をはじめとする我々医療職の仕事が、日々のマンツーマン指導が技量の上達に欠かせないということを示しています。次元は違いますが技術の伝承に近いものがあります。

このため、患者さんには多少のご不便をおかけしていると推察されますが、患者さんの不利益とならないよう最大限の配慮をしておりますので、次世代の医療従事者を育てるためにもご理解頂ければ幸いです。

放射線被ばく

日本は世界から医療被ばく大国と揶揄されるほど、医療被ばくの多い国です。これは国民人口当たりのCTが世界で1番多いということに起因しています。このため患者さんの医療被ばくがこれまでは野放しとなっていた実情があります。今年に入り医療法が改正され、これら患者さんの医療被ばくの管理を行うことが義務化されました。当科においても、患者さんの医療被ばくが適正に管理されるよう鋭意努力していきたいと考えています。宜しくお願い致します。



就任あいさつ

精神科 教育企画部長 町野 彰彦

4月1日付にて教育企画部長を拝任いたしました精神科の町野と申します。どうぞよろしくお願いたします。

拜命したものの「教育企画部」としての職務がどういったものか正確には把握していないところもありますが、私なりの理解としては病院職員に対する教育を通じて病院の機能を向上させる役割であろうと考えております。病院の機能向上といっても様々なものがあります。最新の医療機器を備えるといったハードな面もあれば、そこで働く職員の個々の能力を向上させるといったソフトな面もあります。どんなに機械が進歩し新しい薬剤が開発されても、医療とは結局は人が行うものである以上、人を教育することが重要だと思われれます。そして、個々の能力向上も重要ですが、個人の頑張りだけでは結果には結びつかないこともよく知られています。スーパース

ターをそろえたサッカーチームが優勝できず、お金持ちの巨人がカーブに勝てない理由もそこにあります。

ということで、今年度も7月の最初の週末に中間管理職を対象とした宿泊研修を行う予定です。この研修の目的は、中間管理職がコーチングスキルを使ってコミュニケーション能力を向上させ、人材育成、チームワークの醸成を職場で実践できることとなっており、結果として、職場でチーム医療が実践され、呉医療センター全体の活性化とより安全で良質な医療が提供できることを目指しております。職種は、医師、看護師、コメディカル、事務職など多岐にわたり、職種を超えて協力してゆける体制づくりが期待されます。実りある研修が行われることを祈念してご挨拶を終わりたいと存じます。





就任あいさつ

乳腺内分泌外科科長 重松 英朗

4月1日付けで乳腺内分泌外科科長に着任いたしました重松英朗と申します。どうぞよろしくお願いたします。

【自己紹介】

出身は呉市であり、当院の近所である清水町で幼少時代を過ごしました。当時は国立呉病院勤務の家庭の子供たちと一緒に病院近くの林や用水路でアブラゼミやオタマジャクシを捕まえていたことを記憶しています。病院を眺めて“ここは偉い人が働いているところ”と思っていましたが、今こうして当院に勤務していることは有り難い限りです。平成11年広島大学医学部を卒業し広島大学腫瘍外科に入局しました。九州がんセンターおよび広島大学病院で乳がん診療の経験を積み重ね、平成28年より当院の乳腺外科医として勤務しています。これまでの経験を通して一番大切なことは、患者さんに喜んでもらうこと、に尽きると思います。今後は乳腺外科科長として今までよりも大きな責任を背負っていくこととなります。しっかりと職務を務めますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

勉強・仕事も大事ですが、楽しい人生のために趣味にも力を注いでいます。以前は筋トレが趣味で発達した大胸筋を誇っていましたが『肥る』『走ると肉離れする』『肩が痛い』という問題点がありました。現在は自転車に路線転換し、コスプレ同然のぴっちり系のサイクルジャージ、サイクルシューズ、ヘルメットさらにはパワーメーターを備えたロードレーサーとして活動しています。日祝日は自宅のある広島から当院まで自転車通勤し、たまにヒルクライムレースに出ています。今後も仕事と趣味を両立した楽しい時間を過ごせるようにしたいと思います。

【呉医療センター中国がんセンター乳腺外科の特徴】

呉医療圏の中核病院である呉医療センターの乳腺外科として乳がんを中心とした悪性疾患、また良性疾患を含めた乳腺領域の疾患を幅広く担当しています。年間100例以上の原発性乳がん手術を施行し、これまでに1000例を超える原発性乳がんの手術を経験しています。当科の使命は呉医療圏の乳がん診療を支えることであり、当院にはその責務を果たすに十分な人材と施設が備わっています。お困りの症例などありましたら、一度ご相談い

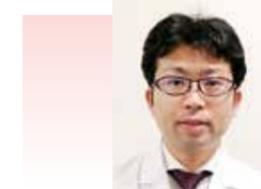
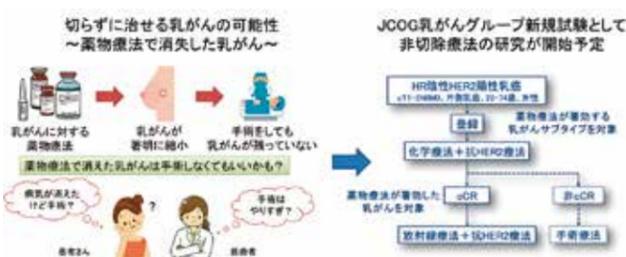
ただければ幸いです。きめ細かい診療と共に最善の医療を提供させていただきます。

呉医療センター乳腺外科の特徴

- ・ 専門性: 日本乳癌学会認定施設です
- ・ 主治医制: 乳腺指導医・専門医が担当医となり、責任をもって診療を担当します
- ・ チーム医療: 中核病院である当院の乳腺外科として、どのような状態の患者さんでも、他診療科と協力して対応いたします

【現在取り組んでいる研究についての紹介】

当科は日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) の乳がんグループの参加施設として登録され (全国44施設)、質の高い臨床試験へ参加し、乳がん医療の進歩に努めています。JCOG乳がんグループの新しい臨床試験として『薬物療法が著効した早期乳がんに対する非切除療法の有用性を検証する単群検証試験』が予定されており、自分が事務局として試験の開発・進行に携わらせていただいています。乳腺外科医なのに乳がん手術省略する治療の開発に携わることは矛盾しているようですが、手術の功罪を熟知している外科医だからこと出来る仕事ともいえます。“切らずに乳がんを治す”という選択肢は乳がん患者さんにとって非常に魅力的なはず。これからも事務局として臨床試験の遂行に尽力し、多くの乳がん患者さんの助けになるように頑張りたいと思います。当院スタッフおよび先生方にはいろいろお世話になるとと思いますが、ご協力のほど何卒よろしくお願いたします。



就任あいさつ

整形外科医長およびリハビリテーション科長 山崎 琢磨

4月1日付けで整形外科医長およびリハビリテーション科長として着任致しました山崎と申します。どうぞよろしくお願いたします。

医師としては25年目となりますが、そのうち16年間は大学病院に勤務致し、整形外科の中でも股関節外科を中心に診療や研究を行って参りました。大学病院に戻る前には中国労災病院に勤務しておりましたため、呉にはとても馴染みがあり、今回また呉に戻ってきたということで縁を感じております。久しぶりの臨床現場への復帰ということで、周りの先生方にご迷惑をおかけしておりますが、徐々に慣れて少しでも多く呉の医療に貢献できますよう努めて参りますので、何卒宜しくお願申し上げます。

股関節外科診療について

股関節疾患の素因となる骨形態異常の一つに寛骨臼形成不全があり、日本人には寛骨臼形成不全を有する頻度が高いことがわかっています。実際にわが国では変形性股関節症の患者さんの約8割に寛骨臼形成不全が関与しており (海外では2割以下)、このような骨盤形態異常の特徴から、変形性股関節症に対する治療には人工関節置換術だけでなく、骨盤あるいは大腿骨の骨切り術などの矯正手術で自然経過を変えようとする治療が行われてきました。しかし、人工関節の成績向上に伴って、骨切り術のような習熟に時間を要する手術が敬遠されがちになり、画像所見で股関節に少しでも関節症の変化を認めれば人工関節で対処できるかのような風潮が強くなっています。

広島大学整形外科の股関節診療班ではできるかぎり関節を温存できる (人工関節に頼らない) 手術や診療を心掛けて治療にあたって参りました。股関節痛を引き起こす疾患としては変形性股関節症以外の関節内病変あるいは関節外病変など様々な病態が関与しています。各々の病態に適した診療を行うためには種々の診断法や治療法を習熟する必要があり、骨切り術のほか股関節鏡視下手術や関節外病変に対するアプローチなどを通して、より詳細な痛みの原因究明や治療法の選択を追究しております。

また、人工股関節置換術においても、ただ変形した骨を人工物に置き換えるだけでなく、関節を構成する筋 (腱)・靭帯・関節包をできるかぎり温存して安定した関節を再建できるよう、手術方法にもこだわりをもって取り組んでおります。特に手術治療には病態や術式に応じたりリハビリテーションが不可欠ですので、整形外科とり

リハビリテーション科で連携をとりながら質の高い医療をご提供できればと考えております。股関節周囲の痛みでお困りの方がおられましたら、是非ともご紹介いただければ幸いです。

代表的な関節温存手術・診療

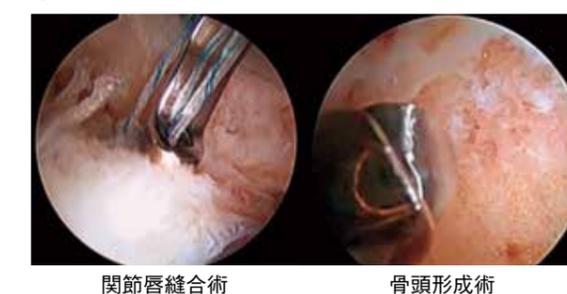
① 寛骨臼形成不全を有する変形性股関節症に対する寛骨臼回転骨切り術



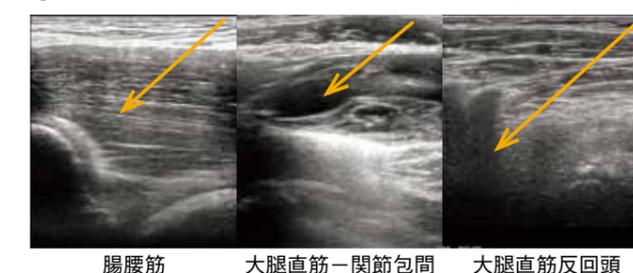
② 大腿骨頭壊死症に対する骨頭後方回転骨切り術



③ 関節内病変に対する股関節鏡視下手術



④ 関節外病変に対するエコーガイド下注射





就任あいさつ

管理課長 河本 泰宏

4月1日付で当院の企画課・経営企画室より配置換で異動して参りました河本です。

どうぞよろしくお願いいたします。

出身は隣の県となる岡山県です。3年前に当院へ赴任したときにもご挨拶させていただきましたが、当院には平成10年7月、平成20年4月と勤務し、3回目の勤務で4年目となります。

管理課の業務は採用・退職等の人事関係、勤務時間、給与、旅費、共済組合、社会保険等の手続き、宿舍管理

など職員に関することを主に扱う部署で、各種研修会のお手伝いも行っています。

今年度は谷山前院長から下瀬新院長となり、呉医療センター・中国がんセンターの新体制のもとますますの飛躍をしていく年として、また、元号も平成から令和となった年でもあり、気を引き締めて頑張っていきます。職員の皆さんが働きやすい環境作りに徹して参りますのでご支援、ご協力を頂きますよう宜しくお願いいたします。



就任あいさつ

経営企画室長 紀川 収次

4月1日付で広島西医療センターから異動して参りました紀川です。よろしく申し上げます。

出身、現在の自宅ともに広島県廿日市市です。当院への勤務は6年半ぶり2回目の勤務となります。前回勤務した9年半の間には、独立行政法人化、電子カルテの導入、病院機能評価の受審など病院は常に新しい目標に取り組んでおり、一職員として瞬く間に月日を過ごしました。当院から離れている間は良い思い出としていましたが、再び勤務することになり40歳半ばを過ぎた自分に務まるか少し不安を感じていました。赴任してみますと旧知の方々に温かい声をかけて頂き「よし頑張ろう」と

気持ちを新たにしています。

ご存じのとおり医療を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。医療・介護サービスがピークを迎える2025年問題、医療需要が減少傾向に転じる2025年後問題が差し迫るなかで、当院は引き続き高度総合医療施設として地域で重要な役割を果たしていく必要があります。

たいへん微力ではありますが、病院が進むべき方向を見失わないよう経営企画室として提案するべく努力してまいりますのでどうぞご支援・ご指導のほどよろしくお願いいたします。

診療科 紹介

小児科

小児科科長 世羅 康彦



時代が変わっても小児科は変わらずがんばる

当院小児科は日本小児科学会専門医4名、医師1名、後期研修医1名の計6名の医師が在籍(図1)。呉医療圏を中心に、江田島市や東広島市、竹原市など周辺の医療圏もカバーして小児の診療にあたっています。

当院小児科においては外来・入院診療、新生児医療、救急医療と小児科全般の診療をしています。外来・入院診療では、一部の疾患を除きほぼすべての疾患に対応できるよう準備をしています。また、新生児医療に対しては24時間・365日に対応できる体制を整えています(図2)。救急医療では、中国労災病院の小児科とともに小児輪番制をとり、二病院で分担して小児救急の受け入れをしています。当院では月・水・木・土曜日が輪番の当番に当たっています。

以上のように、小児医療の体制としてはいつの時代も、他施設と比較しても、大きな違いはありません。しかし、小児医療の内容は大きく変化をしてくれています。私が小児科医として研修を始めた24年前は、子どもが熱を出したら、多くの場合、カゼであっても抗生物質の投与をしていました。そのため、一時期は薬剤耐性細菌が問題となりました。しかし、現在は抗生物質の適正使用が進められ、不要な処方が減ってきました。これは、当たり前のことなのですが、過去を知る私には大きな変化に思われます。昔はこんなことをしていたのかと、唯々、反省です。



(図1)



(図2)

また、夜間救急での入院が多かった気管支喘息も、発作を抑制する薬剤の登場によりコントロールが良好になり、気管支喘息による入院は激減しました。おかげで当直の夜中に起こされる回数も減りました。医療の進歩として患者だけでなく、我々にも資する変化でした。

その他にも新しい薬剤や予防接種の導入、新たな視点からの治療の開発など、数多くの進歩により、小児科では入院を要する疾患は減ったように感じます。それに加えて、少子高齢化により小児人口は減少しています。呉市も例外ではなく、むしろその傾向が顕著に表れているようです。入院を要する疾患が減ったことは、子ども達とその家族にとっては良いことです。しかし、決して疾患がなくなったわけではなく、依然として重症の患者が存在することは事実です。小児が減っても、小児科へのニーズは減っていない、逆に増えてきているのではと感じます。また、現在は虐待や不登校など、小児の新しい問題が増えてきています。このような問題も小児科とは無縁ではありません。子ども達が身体的にも精神的にも、社会的にも健康な生活を送るため、医療面で我々に求められるものがあります。

このような我々への期待を背に、それに応えるべく我々スタッフ一同、これからも変わることなく日々の診療とともに自己研鑽し、より質の高い小児科を目指していきます。

診療科 紹介

腎臓内科 腎生検について

腎臓内科 科長 高橋 俊介



現在、腎臓内科は高橋、有馬、京田、半田の四名で診療を行っています。国際腎臓学会 (ISN) が推進する『インターベンショナル・ネフロロジー』を合言葉に、腎炎・腎不全の診療、血液透析、腹膜透析はもちろん、各種血液浄化療法、内シャントや長期留置カテーテルなどの血管アクセス手術や、腹膜透析カテーテル関連手術を積極的に行っています。本日は腎臓内科の診療の中から、腎生検についてお伝えします。

【蛋白尿が出ていると言われたら？】

腎臓は、血液の中の必要なものと不必要なものを峻別して尿をつくる臓器です。全身の血液を集めて濾過することで水分や電解質の調整をし、老廃物を排泄しているのです。蛋白尿が出ている、多くの場合は自覚症状など全くありません。しかし、本来尿に出てはいけない蛋白が腎臓から漏れているということは、腎臓の異常を示す大切なサインなのです。糸球体腎炎であれば、早いもので1年、ゆっくり進行するもので20年程度で透析か腎移植を要する状態になる可能性があります。蛋白尿は心臓病や脳卒中の危険因子であることもわかっています。健康診断の検尿異常は、症状がないからといって放置してはいけません。

【腎生検が必要になるのは？】

- 1) 検尿異常
尿検査で尿蛋白陽性が続く場合は、治療が必要な糸球体腎炎の可能性が高く、腎生検が必要です。蛋白尿と血尿の両方が認められる場合には、さらに危険が高いとされています。こういった場合には腎生検を行います。一方、血尿だけがみられる場合は、腎臓の異常ではなく尿路からの出血のサインである場合があります。とくに悪性腫瘍が気になりますので、まずは泌尿器科的な検査が優先です。
- 2) ネフローゼ症候群
大量の蛋白尿のため血液の蛋白が著しく減少し、結果としてむくみが発生する病態をネフローゼ症候群といいます。この病態を呈した場合には腎生検の適応となります。
- 3) 原因不明の腎機能障害
腎機能障害が慢性か急性か、原因は腎臓に送られる血流なのか、腎臓そのものなのか、尿の通り道なのか。身体所見や画像所見から様々な可能性を考えます。腎機能障害の原因がはっきり分からない場合には腎生検の適応となります。
- 4) 腎臓病を合併する全身疾患
全身性エリテマトーデスなどの膠原病や、ANCA 関連血管炎や IgA 血管炎などの血管炎、アミロイドー

シスなどの血液疾患では腎臓病を合併します。これらの腎臓病は全身疾患の治療方針にかかわるため、腎生検を行います。



【腎生検の実際は？】

超音波装置で腎臓を観察しながら行います。局所麻酔を注射して、組織採取のためボールペンの芯ほどの太さのある針を刺して組織を採取します。臓器に針を刺すと聞くと痛そうですが、人間の皮膚感覚と内臓感覚は違うので、腎臓に針が刺さるときに鋭い痛みを感じることはありません。

腎臓は全身の血液の25%が集中する血管の塊のような構造をしており、非常に出血し易い臓器です。血尿や後腹膜出血といった合併症を予防するために、検査は入院のうえ病棟処置室で行い、検査後は十分な安静時間とります。腎生検のための入院は、火曜日からの5日間入院で、クリティカルパスというスケジュール表を使っています。

【腎生検の結果は？】

腎生検検体はホルマリンなどで固定した後、ロウソクの蠟のようなものに埋めて、薄くスライスしてプレパラートで染色した後に顕微鏡で観察します。腎生検から標本作成までは一週間程度かかります。蛍光抗体染色と電子顕微鏡検査の結果は院外に依頼しており、結果報告まで一ヶ月半程度かかります。腎臓内科外来では、光学顕微鏡画像をデジタル化したバーチャルスライドを用いて患者さんに腎生検の結果を説明しています。

【最後に】

腎生検は腎臓病の診断のため有益な検査です。腎臓内科では年間40例程度の腎生検を行っています。健康診断で検尿異常があり要精査になった方、原因が分からない腎臓病をお持ちの方は、地域連携室などに御相談下さい。



診療科 紹介

皮膚科

皮膚科 科長 中村 吏江

H31年4月より前任常勤医の天野愛純香医師に代わり、坂本拓海医師が広島総合病院から異動となり、現在皮膚科は常勤医2名、子育て中の非常勤医師1名の3名体制での月曜日～金曜日の午前中は外来診療を、午後は検査・小手術、入院患者様の診察を行っています。

当科の特徴としては、呉医療圏の中でも乾癬（かんせん）に対して積極的に生物学的製剤を導入していることが挙げられます。今回はこの乾癬について御紹介させていただきます。

乾癬（かんせん）ですが、最近モデルの女性が乾癬であることを公表し話題になりました。“かんせん”という読み方から伝染病と勘違いされることがありますが決して伝染することではなく、皮膚科の領域では炎症性角化症に分類され、以下の種類に分けられています。

一番多いのは尋常性乾癬（じんじょうせいかんせん）で乾癬全体の約80～90%を占めます。症状としては皮膚が赤くなる、盛り上がる、フケのようなものが剥がれ落ちるなどの症状がみられます。そして約60%の患者様に爪にも症状が生じ、爪水虫と間違われることがあります。その他に関節症性乾癬（かんせつしょうせいかんせん）や乾癬性紅皮症（かんせんせいこうひしょう）、膿疱性乾癬（のうほうせいかんせん）などがあります。

関節症性乾癬は炎症性の関節炎を伴う乾癬で、最初から関節症状がでる人は少なく、多くは尋常性乾癬の経過中に生じます。（尋常性乾癬患者様の14～16%で経過中に関節症状が生じるとも言われています。）手足や指、背中などの痛み他アキレス腱付着部や足底などに腫れや痛

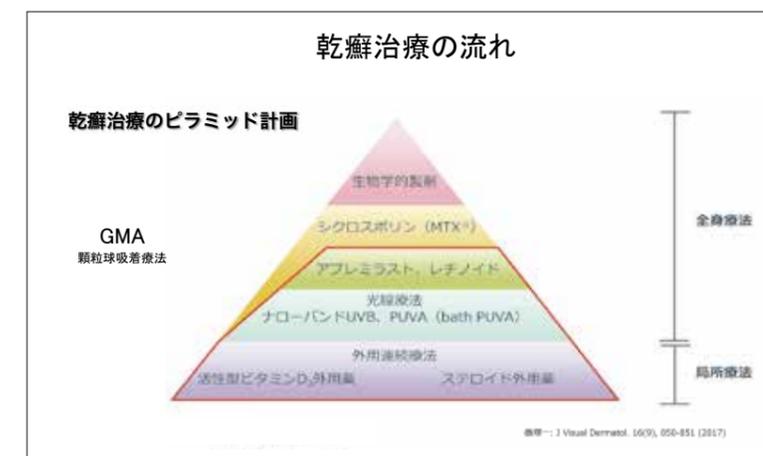
みがでることもあります。関節リウマチとよく似た症状ですが通常リウマチ因子などは陰性です。

乾癬性紅皮症は比較的稀ですが、乾癬の病状が急激に悪化し全身が紅潮（こうちょう）したものです。膿疱性乾癬は高熱と倦怠感を伴い、急激に全身の皮膚が紅潮し、膿疱（膿を持った状態）が多発します。乾癬性紅皮症と膿疱性乾癬は比較的稀ですが全身の炎症が強く、放置すると全身衰弱などにより重篤な状態になることがあるため通常入院治療となります。

乾癬の原因として、外的影響（皮膚刺激、薬剤、飲酒・喫煙、不規則な食生活など）、内的影響（ストレス、メタボリックシンドローム）、炎症の生じやすさなどの遺伝的要因が複雑に絡み合っているとされています。患者様からよく生活を改めれば根治するかとご質問を頂きますが、前述のように複数の要因が複雑に絡み合うため、生活改善のみでの完全な根治はかなり難しいとお答えしています。しかしながら治療法が日々進歩し、ほとんど症状をなくすことも、更にそのよい状態を長く保つことも可能になっております。

治療ですが、日本皮膚科学会が発行している“乾癬における生物学的製剤の使用ガイドランス（2018年版）”に沿って行うことが多いです。基本となる治療は外用療法であり、各患者様の病状に応じて光線療法、内服療法、注射・点滴療法を併用もしくは変更していきます。外用療法、光線療法、内服療法については各々長所短所がありますが今回は割愛させていただきます。

注射・点滴療法は基本的には前述の治療での効果が



【乾癬に対して国内で承認されている生物学的製剤】

2019年6月時点

薬剤名	インフリキシマブ	アダリムマブ	ウスティヌマブ	セクキヌマブ	プロダルマブ	イクセキズマブ	グセルクマブ	リサンキズマブ
商品名	レミケード	ヒュミラ	ステララ	コセンテックス	ルミセフ	トルツ	トテムフィア	スキリージ
承認国内での承認状況	2010年 尋常性乾癬	2010年 尋常性乾癬	2011年 尋常性乾癬	2014年 尋常性乾癬	2016年 尋常性乾癬	2016年 尋常性乾癬	2018年 尋常性乾癬	2019年 尋常性乾癬
	関節症性乾癬	関節症性乾癬	関節症性乾癬	関節症性乾癬	関節症性乾癬	関節症性乾癬	関節症性乾癬	関節症性乾癬
	乾癬性紅皮症	膿疱性乾癬		膿疱性乾癬	乾癬性紅皮症	乾癬性紅皮症	乾癬性紅皮症	乾癬性紅皮症
	膿疱性乾癬				膿疱性乾癬	膿疱性乾癬	膿疱性乾癬	膿疱性乾癬
標的	TNF α	TNF α	IL-12/23 p40	IL-17A	IL17受容体A	IL-17A	IL-23p19	IL-23p19
注射方法	点滴静注	皮下注射	皮下注射	皮下注射	皮下注射	皮下注射	皮下注射	皮下注射
投与間隔	0.2,6週、以後8週毎	2週毎	0.4週、以後12週毎	0.1,2,3,4週、以後4週毎	0.1,2週、以後2週毎	初回から12週は2週毎、以後4週毎	0.4週、以後8週毎	0.4週、以後12週毎

* 当院では上記全薬剤の使用が可能で、患者様と相談の上選択しております。

乏しい重症例のみの適用となりますが治療効果も高く、注射・点滴療法に切り替えることで皮膚症状を80%～90%改善することも可能です。しかしながら少ないながら重篤な副作用もあり、使用前には全身精査が必要になります。また費用的も高額になるため医療費が一番大きなネックになることが多いですが高額療養費制度など使用できる制度もあり、お気軽にご質問いただければと思います。

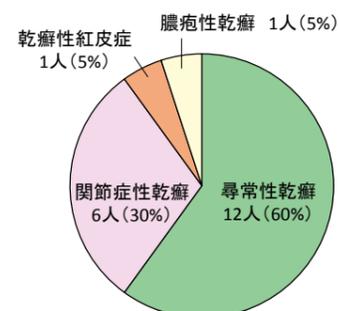
また乾癬患者様は痒みで熟睡できない、仕事・就学中も集中できない、皮膚症状に対して他者からの指摘などのストレス、慢性経過を辿るため通院期間が長期にわたるなど様々な面で制限を受けます。重症になればなるほど、こういった日常生活への支障も大きくなることも多く、患者様個々人の病状に合わせた治療選択をする必要があります。当院では乾癬治療の全段階の治療を行っており、重症例や日常生活への支障が大きい場合は積極的に生物学的製剤治療に切り替えております。現在本邦で

保険適用がある生物学的製剤は8剤あり、点滴が1剤、注射が7剤の計8剤があり、当院ではすべて使用できます。薬剤毎に投与間隔が異なり、また自宅での自己注射もあるため最大で3か月に1回の通院も可能です。患者様の病状や自己注射が可能かなど相談の上薬剤選択を提案しており、お気軽にご紹介、受診を頂ければと思います。

【生物学的製剤での治療経過の1例】



【当科で生物学的製剤治療中の患者様の内訳】



* 罹病期間が長いほど関節症性乾癬に進展することが多く、当院での関節症性患者様の割合が高いのは、長期にわたる罹病期間の患者様が多いためと思われます。

職場紹介

7A病棟

看護師長 和井元 孝紀



7A病棟は、ベッド数：55床を有する泌尿器科・呼吸器外科・呼吸器内科・皮膚科・消化器外科の混合病棟です。



手術療法を受ける患者さん・化学療法や放射線療法を受ける患者さん等、様々な患者さんが入院されています。手術療法では、お腹の中にカメラ（胸腔鏡や腹腔鏡）を入れて行う手術が多く行われています。胸腔鏡や腹腔鏡は、お腹や胸には小さく穴をあけてそこからカメラを挿入して行う手術であり、傷も小さく、患者さんへの影響が小さくて済む手術です。看護師は、患者さんの不安の軽減や合併症の予防に重点を置いて、患者さんの苦痛の緩和や回復への援助を行っています。

当病棟には、日本看護協会認定の皮膚排泄ケア認定看護師が2名配置されています。泌尿器科の人工膀胱造設



した患者さんの不安の軽減や管理方法の指導、退院後の生活指導はもちろん、褥瘡（床ずれ）や皮膚トラブルの予防や対応を行っています。皮膚排泄ケア認定看護師の指導や助言の基にし共に行うことでより患者に寄り添った質の高いケアとなるよう努めています。



<皮膚排泄ケア認定看護師から教えてもらいます>

また、入院時から医師・看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士等の多職種がチームとして連携し、患者さんのニードをふまえて治療経過等をカンファレンスで検討・調整していくことで、退院後の患者さんの生活を支えられるように努めています。



<退院後の生活を支えられるように多職種でカンファレンスを行っています>



平成 31 年度 永年勤続表彰

管理課 安田 圭太郎

令和1年5月21日、独立行政法人国立病院機構永年勤続表彰の伝達式が行われました。

院長から表彰状と記念品の金杯又は銀杯が一人一人に授与され、当該者に対するねぎらいの挨拶がありました。

【30年以上表彰】

- 副院長 中野 喜久雄
- 栄養管理室長 別府 成人
- 看護師 高松 勢津子
- 調理師長 大岡 美喜夫
- 調理師 大久保 輝 幸
- 教員 吉田 美 栄
- 教員 小林 裕 子

【20年以上表彰】

- 歯科口腔外科科長 田中 浩 二
- 経営企画室長 紀川 収 次
- 看護師長 神農 祐 子
- 看護師長 藤田 博 子
- 副看護師長 炭谷 容 子
- 副看護師長 片山 千 雪
- 副看護師長 菅 絢 子
- 看護師 崎山 千 沙
- 看護師 吉田 孝 子
- 看護師 渡 邊 良 子



30年以上表彰



20年以上表彰

平成 31 年度 辞令交付式

管理課 安田 圭太郎

平成31年4月1日、辞令交付式を開催しました。

今年度は新規採用者123名、転勤者及び院内異動者64名と、例年どおり多くの新採用者・転勤者を迎えることができました。交付式は4回に分けて行われ、副院長よりそれぞれに辞令が手渡されました。(新院長は国立病院機構本部での院長就任の辞令交付式に出席のため不在)

新卒の方や、他病院での経験を積んだ方等、様々な顔ぶれでしたが、みな希望に満ちた素晴らしい表情をしていました。

【新採用者123名の内訳】

- 医師 29名
- 臨床研修医 11名
- 助産師・看護師 64名
- その他 19名

【転勤者・院内異動者64名の内訳】

- 医師 23名
- 助産師・看護師 11名
- その他 30名



ふれあい看護体験を開催しました

9A病棟 西岡 初子



令和元年5月24日(金)高校生対象に、「ふれあい看護体験」を開催しました。

近隣の高校から10名参加がありました。

白衣に着替え、髪をセットし、記念撮影を行いました。

みんな初めての白衣とは思えないくらい白衣が似合っていました。

前半は血圧測定、聴診、車椅子・ストレッチャー搬送などを体験してもらいました。

皆さん初めての医療機器や物品に興味を示し、楽しんで体験することができました。

後半は病棟の看護師と一緒に患者さんの足を洗ったり、赤ちゃんを抱っこしたり、お話をしたり、実際に入院されている患者さんとふれあいました。患者さんとの

ふれあいにドキドキしながらも、参加者も患者さんも、みんな笑顔で貴重な時間を過ごすことができました。

体験後に開催した懇親会では、「患者さんからの『ありがとう、頑張って』の言葉がとてもうれしかった」先輩看護師の看護体験などを聞き「看護師になりたい気持ちが強くなった」など嬉しい感想を頂きました。

短い時間ではありましたが、看護の心や看護師の仕事の一端を体感してもらったかな?と思います。

参加して下さった10名全員が将来看護師を目指しているとのことでした♪

皆さん、将来ぜひ一緒に働きましょうね!お待ちしております。





入学式を終えて

呉看護学校 三宅 優子

平成31年4月9日。桜は満開を迎え、花吹雪と春の日差しのコントラストが目鮮やかなこの日、入学式がとり行われ、82名の新生を迎えました。

真新しいスーツに身を包む新生の姿は、皆ぎこちなく、緊張した面持ちでした。反面、これから始まる看護学生としての新しいスタートに期待を抱いている様子もうかがえました。また、下瀬学校長先生を前にし、一人ひとり呼名され、「はい」と応える姿は、ここから始まる学校生活、看護の道を志す仲間との出会いに対して希望に満ちた声のように響いていました。そして、式典では、学校長先生をはじめ、来賓の方々からのご祝辞、在校生からの歓迎の言葉を新生は真剣な眼差しで聞いていました。

さて、今年5月1日、元号が令和へと改められました。「初春の令月にして気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す（万葉集より）」。

「令和」という元号の所以について、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そういう日本でありたいとの願いである。」と述べられていました。この学生たちはまさに令和最初の本校への入学生となりました。この令和の所以にふさわしい、これからの看護を担うべき存在となれるよう、成長していったほしいと願っています。



私は、この4月に呉看護学校に異動してまいりました。約2年ぶりの教育職になります。改めて、初めて看護師になったとき、初めて教員になったときを思い起こし、気が引き締まる思いであります。同時に、新生たちとともに看護を原点から見つめ直す機会としていきたいと考えております。

入学式を終えて間もなく2ヶ月が経とうとしており、解剖生理学などの講義も始まりました。学生たちは少しずつ看護学校の生活にも慣れ、衛生的な手洗い法やベッドメイキングなど一生懸命に看護技術の練習に励んでいる姿も目にするようになりました。

5月末には、初めて白衣をまとい、病棟に行き、臨地実習を行いました。2日間という短い期間ではありましたが、患者さんが療養されている環境を実際に自分の五感を使って理解しました。また、病棟で働いておられる看護師の方々の後ろにつき、看護実践されている姿を目の当たりにしました。実習を終えた学生は「看護師さんってすごい」「私もあのような看護師さんになりたい」と口々に振り返っていました。これからの学習の励みとなるような理想とする看護師像をそれぞれが明確にしながら、それを目標としつつ、患者さんの気持ちに寄り添える優しい心と、責任感を兼ね備えた看護の素晴らしさを受け継いでいけるよう努力し続けてほしいと思います。



多職種協働で行うマラソン大会医務室ボランティアの取り組み

総合診療科 中村 浩士

2011年より毎年、地域の医師会や病院の医師・看護師・研修医や学生と共に、ランナーの健康チェックとコース上のスポーツ救護を目的とした医務室ボランティアをしております（図1）。12月16日（日）に山口県萩市において第19回維新の里・萩城下町マラソン（総参加者数約3,438名）、3月3日（日）には山口県岩国市において第13回錦帯橋ロードレース（参加者数4,620名）の医務室ボランティアを実施しました。今年度はさらに（財）政策



（図1）当院初期研修医の藤山健太（後列左）ならびに岩国医療センターや山口大学病院陸上部のドクター／ナースランと共に（筆者：前列左）。

医療振興財団の研究助成を受けて栄養管理室を中心に精神科の心理療法士、さらには呉工業高等専門学校（医工連携）の方々にも参画いただき大規模にマラソンランナーを対象とした臨床研究も実施することが出来ました（図2&3）。残念ながら両日とも小雨の中での開催でしたが、大きな事故もなく無事に終了することが出来ました。



（図2）メディカルチェックの様子。ハーフマラソンの走行前後のタイトな時間に計測しました。それでも萩と岩国市を合わせて実に約80名ものランナーの研究協力を得ることが出来ました。『運動と食事による行動変容の研究』（研究代表者：栄養管理室長・別府成人）



（図3）第13回錦帯橋ロードレース大会医務室ボランティアの集合写真。後方山頂には岩国城が映っております。

うちの部署の 接遇キラリさん



看護部
9B病棟
看護師

清水 理恵子さん

突然の病名告知や繰り返し治療を受ける中で不安を抱えている患者さんと、直接関わる時間を大切にしてお話しして優しさのある看護を行うよう心がけています。

井上 恵美 看護師長 より

患者さんやご家族の想いをしっかり聞いて、いつも優しく丁寧に接してくれています。穏やかでとても優しいので、スタッフからも愛され信頼されています。



看護部
9A病棟
看護師

山根 彩花さん

受け持ち患者さん以外にも廊下などですれ違う時には、自分から声をかけ患者さんとの関係が作れるようにしています。また普段と違った様子はないか気づけるようにいつも心がけています。

西岡 初子 看護師長 より

精神科看護を希望されて、いつも患者さんとの関わりを大切に看護してくれています。優しい笑顔と丁寧な対応で患者さんの心を癒してくれる9A病棟では大切な存在です。



事務部
企画課
契約係

近藤 良紀さん

患者さんへの影響を減らし、職員の皆様の負担も増えないよう、施設に不備があった際は迅速な駆け付けと修繕を心がけています。

市場 企画課長 より

施設管理の仕事をしており、職場に行くと業者さんに間違われることもあると聞いていますが、常に明るく前向きです。院内で見かけたら声を掛けてあげてください。



事務部
管理課
事務助手

平松 仁美さん

電話交換では、不安を持って掛けてこられている患者さんに少しでも気持ちが和らいでもらえる様な言葉づかい、声のトーンを心掛けています。

河本 管理課長 より

患者さんへの対応はもちろん、職員への対応もすばらしく、電話交換及び管理課での窓口対応で良いクッション役を果たしています。

食中毒に気を付けよう！！

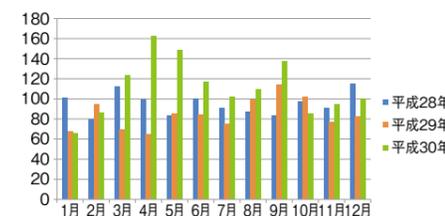


栄養管理室 平松 佑美



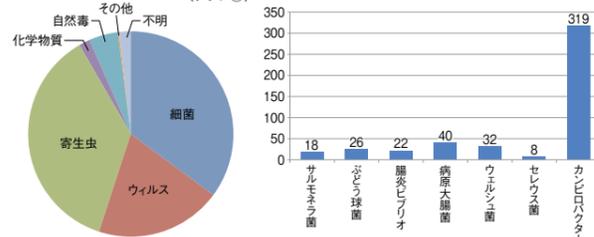
皆さんは食中毒の発生件数が多いのは、どの季節だと思いますか？
外気温が上がり、食材が傷みやすい夏のイメージもあるかと思いますが、近年は年間を通してまんべんなく発生しています（グラフ①）。

月別食中毒発生事件数(件) (グラフ①)



平成30年に発生した食中毒は、アニサキスのような寄生虫によるものが最も多く、次に細菌性の食中毒が多くなっています（グラフ②）。主な細菌による原因物質別にみると、「カンピロバクター」が群を抜いて多く、次いで腸管出血性大腸菌を含む「病原大腸菌」、「ウェルシュ菌」と続きます（グラフ③）。

平成30年 原因物質別発生状況(件) (グラフ②) 平成30年 主な原因物質別(細菌)にみた事件数(件) (グラフ③)



では、それらの食中毒菌の特性（表①）を踏まえ、私たちにできる予防策はどのようなものがあるのでしょうか。

表①食中毒菌の特性と予防

食中毒菌	感染源と主な原因食品	症状と予防
カンピロバクター	鶏、豚、子牛などの腸に存在。4℃以下でも長い期間生存し、菌数が少量でも発病。人やペットからも感染する。生の鶏肉、未消毒の水、滅菌されていない牛乳、乳製品	下痢、血便、熱。2～5日で発症。 悪化するとギランバレー症候群（神経麻痺、しびれ）が1～2週間。 ・食肉は十分に加熱する。 ・調理器具の洗浄・除菌。
黄色ブドウ球菌	酸素の有無にこだわらない。pH2.6以下の酸性でも生存。人や動物の手指、鼻腔に生息。毒素エンテロトキシンを発生させ、毒素は加熱での除去が困難。穀類の加工品、弁当、おにぎり、再加熱食品、ハム、肉、卵、牛乳	吐き気、嘔吐、下痢、腹痛。38℃以上の高熱はほとんどない。1～5時間で発症。 ・調理前に正しい手洗いを励行する。 ・手指に傷や化膿のある時は、きちんとカバーをする。 ・（直接食品に触れない。）
サルモネラ属菌	酸素の有無にこだわらない。pH4.5以下の酸性でも生存。動物や人に広く存在。水や土にも存在。鶏肉、卵、チキンサラダ、肉、魚、えび、スライスメロン、もやし、かいわれ大根	下痢、発熱、腹痛、吐き気。5～72時間で発症。子供や老人で脱水症状。 ・調理器具の洗浄・除菌。 ・食肉は十分に火を通す。 ・卵の冷蔵、加熱調理。卵は割ってから放置しない。
腸炎ビブリオ	6～9月の夏に繁殖。塩分を好む。他の食中毒菌と比べて成長が早い。生牡蠣、その他貝類、魚介類、その加工品、塩分の多いもの	激しい下痢、腹痛、嘔吐。発熱はほとんどない。8～24時間で発症。 ・魚介類（特に牡蠣）は火を通してから食べる。 ・魚介類は5℃以下に保管する。 ・魚介類は真水でよく洗って調理する。 ・調理器具（まな板）の洗浄・除菌。



医療技術研修センター

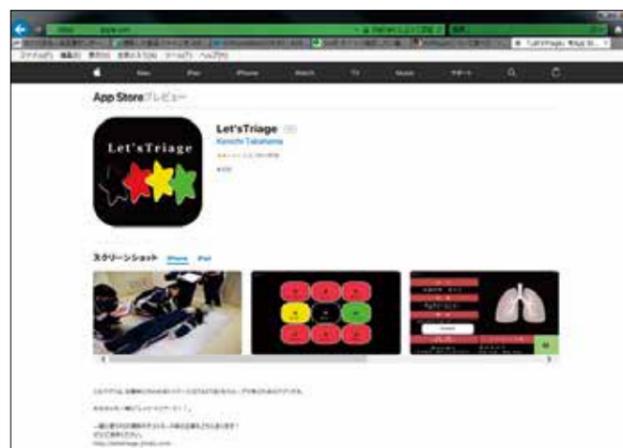
医療技術研修センター部長 繁田 正信



平成31年4月1日より医療技術研修センター部長を拝命いたしました医師の繁田と申します。当センターは平成22年4月より運用が開始され10年目を迎えます。毎年、病院外の医師、看護師、看護学生等の実習が行われ、例年延べ3000～3500人の方々に利用していただいております。今までに歴代のセンター長が行ってきたいろいろな事を踏まえ新年号(令和)を迎えることもあり、これからもっとセンター一同地域の医療に還元されるような実習が行われるよう、取り組んでいきたいと考えております。

皆様どうぞよろしくおねがいたします。

App Store プレビュー画面「アプリ名: Let's Triage」



① トリアージ実施者

② iPad 保持者

④ 記録者

③ 患者さん役

センターではいろいろな取り組みを行っておりますが、今回はiPadのアプリをご紹介します。アプリ名は「Let's Triage」といい災害時の傷病者選別方法(トリアージといいます)のSTART法をトレーニングすることのできるアプリです。

現在は附属呉看護学校や岩国看護学校などの災害看護演習において使用していただいております。

このアプリは、センター員高浜が開発いたしました。目的は呉看護学校だけで活用してもらうだけではなく、他の看護学校や多くの医療機関で使っていただけたらと思い開発に至りました。アプリについて広報する場がなかったためご紹介させていただきました。

なかなか紙面では伝わりにくいかと思います。ご興味を持たれた方・体験してみたい方などおられましたら気兼ねなく下記にご連絡ください。お待ちしております。

医療技術研修センター センター員
高浜 賢一 0823-21-7100 (内線 7099)
(email: takahama.kenichi.qm@mail.hosp.go.jp)



よねくら小児科

院長 米倉 圭二

2019年4月22日に、呉市中通に「よねくら小児科」を開設させて頂きました米倉圭二と申します。2019年3月末まで呉医療センター小児科に7年間勤務させて頂きました。平成の終わりに開業し、GW明けの令和元年に本格的に診療を開始しております。現在、開業後1か月程度しか経過してはおりませんが、優秀なスタッフに助けられ、何とか開業医としての仕事に少しずつ慣れてきたところです。

当クリニックの立地場所ですが、呉医療センターの職員の方も多くが通られていると思われる(私も通勤路でした)道路沿いに立地しており、通勤途中で目にされた方も多いのではないのでしょうか? 3階建ての全面ガラス張りのビルで、夜には施設内の電灯がキレイに輝きます。1階フロアに一般用医薬品を取り揃え、介護相談窓口を併設したヘルスケアコンビニ『ローソン+オールファーマシー』、2階フロアに食生活をサポートするヘルシーカフェ『オールカフェ+タニタカフェ』や健康測定ラボ『オールラボ』、運動習慣を提案する『オールライフフィットネス』が展開されており、毎日多くのお客様で賑わっております。当クリニックは3階フロアで診療を行っております。敷地内には駐車場も完備され、バリアフリーでもあり、お車やベビーカーでの来院にもとても便利になっております。また、待ち時間短縮のために予約システムも導入しており、ご病気の際のお子さんご家族の負担を少しでも減らせていければと思っております。

診療内容ですが、小児科一般診療がメインとなります。お子さまの発熱、咳嗽、嘔吐、下痢などの急性期の症状に迅速かつ適切に対応させていただきます。予防接種、乳幼児健診は専用の時間帯を設けており、感染症のご心配なく受診して頂けるよう配慮しております。その他、私の専門分野である、小児内分泌疾患(低身長、肥満、思春期早発症、甲状腺疾患、夜尿症など)、小児糖尿病の専門的な診療も行っております。この分野に関しましては、小児科領域では専門医が少ないため、広い地域から患者



様に来院して頂いている状況です。

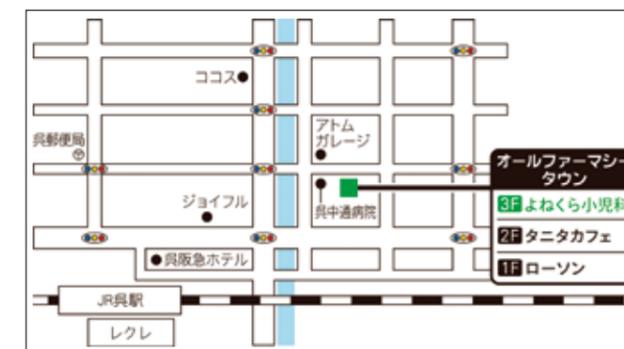
「呉医療センターから最も近い小児科クリニック」として、しっかりと病診連携を取っていただけるようスタッフ一同、精一杯努力して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。



「スタッフ一同」



〒737-0046 呉市中通1-3-14 オールファーマシータウン3F
TEL 0823-32-2531 FAX 0823-32-2551



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	▲	●	●	▲
14:00~15:00 (健診・予防接種)	●	●	/	●	●	/
15:30~18:00	●	●	/	●	●	/

休診日/水曜午後、土曜午後、日曜、祝日 ▲=9:00~13:00まで





摂食・嚥下障害看護認定看護師としての活動

摂食・嚥下障害看護認定看護師 富中 香那

摂食・嚥下障害看護認定看護師の役割は、摂食・嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎・窒息・栄養低下・脱水の予防、適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択および実施です。

摂食・嚥下障害とは、食物を認識し口に運び飲み込むまでの一連の動作が安全に円滑に行えない障害です。食物を食べるという行為は、毎日の楽しみであり、「おいしい」「うれしい」といった情動に繋がります。また何より、栄養を摂取するという大きな意味を持ちます。飲み込むことが難しくなると十分な栄養を摂取することが出来ず、様々な感染症になりやすく、特に誤嚥性肺炎の発症に繋がります。摂食・嚥下障害は、脳卒中などの疾患によるものだけではなく加齢による機能低下からも起こります。



<病棟での勉強会>

院内の活動としては、NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム) 委員会に所属し、患者さんの栄養状態の改善を目的としてチームでカンファレンスを行い、回診を行っています。また、院内のスタッフが共通認識をもって患者さんの口腔内の環境をアセスメントし、統一した口腔ケアが継続できるように他のNST委員と協力して新しいアセスメントツールを作成し、電子カルテに整備しました。

摂食・嚥下障害は、幅広い年代、疾患において起こりうる病態です。高齢化が進んでいく中で、摂食・嚥下障害看護は、更に必要となってくる看護分野であると考えています。今後、更に摂食・嚥下障害看護の分野に関心をもってもらえるよう、院内の看護の知識・技術の底上げを図れるよう尽力していきたいと考えています。



<NST (栄養サポートチーム) カンファレンス>



私が所属する7B病棟は、呼吸器内科、脳神経内科の患者さんが多く入院されています。そのため、摂食・嚥下障害のある患者さんが多くいらっしゃいます。私の病棟での主な活動は、安全な食事介助や誤嚥性肺炎の予防・改善を目的として、勉強会を行っています。食事介助方法や口腔ケア・栄養評価の方法について、カンファレンスや実践を通してスタッフに指導を行っています。

2020年度 看護師・助産師募集

わたしたちと一緒に働いてみませんか。



採用試験日
2019年7月27日(土)

病院見学会 2019年7月12日(金)
インターンシップ 2019年7月5日(金)

<2020年度 採用看護職員 募集要項 (抜粋)>

1. 募集職種
看護師、助産師
 2. 試験内容
論文試験 (800 字程度の小論文) ・ 面接試験
 3. 応募方法
1) 必要書類

受験希望職種	2020年3月資格取得見込みの方	資格を有する方
看護師	①履歴書 (指定の用紙) ②在学中の養成機関の成績証明書 ③卒業見込み証明書	①履歴書 (指定の用紙) ②看護師免許証 (写) ③養成機関の卒業証書 (写) 又は卒業証明書
助産師	①上記内容の書類一式 ②看護師資格を有する方は、看護師免許証 (写)	①上記内容の書類一式 ②助産師免許証 (写)
 4. 待遇について
独立行政法人国立病院機構職員給与規程により支給されます。
1) 基本給
・看護師 初任給 大学卒 206,400円
短大3卒 197,100円
短大2卒 188,000円
・助産師 初任給 209,200円
2) 諸手当
・夜間看護手当: 夜勤1回につき 3,500円~8,600円
(二交代夜勤1回当たり手当額 概ね 11,000円)
(三交代夜勤1回当たり手当額 概ね 5,000円)
・専門看護手当 (専門看護師 5,000円、認定看護師 3,000円)
・住居手当: 借家の場合、月額最高 27,000円支給
・通勤手当: 月額 55,000円まで全額支給
・業績手当 (ボーナス) 年間基本給の 4.2月分
※その他の手当は給与規定に基づき支給されます。
- * 書類提出時の留意事項
・書類提出は、添付・記入漏れのないように注意し、封筒の表に看護職員応募書類在中と朱書きして下さい。
・郵送の場合は簡易書留にて送付して下さい。
・学校等の都合により、必要書類の一部が提出期限に届かない場合は、その旨を記したメモとそれ以外の必要書類を提出期限内に提出し、不足書類は試験前日までに提出先(第1希望病院)に届くようにして下さい。
・提出書類の返却は致しませんのでご了承下さい。
- 2) 提出先 呉医療センター 人事係
3) 応募締切 2019年7月17日(水)消印有効

資料請求・問い合わせ

独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 給与係まで
〒737-0023 広島県呉市青山町 3-1 ☎0823-22-3111 (内線 6213)

病院見学会・インターンシップ
について

上記の日にて都合がつかない場合は調整いたしますので下記までご連絡下さい。
TEL:0823-22-3111 月~金 9:00~17:00
<https://kure.hosp.go.jp/>
E-mail:hikasa.yoko.ej@mail.hosp.go.jp (看護部)



独立行政法人国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校

令和2年度学生募集のお知らせ

1. 募集定員

入学定員	特別推薦入試（指定校制）	推薦入試	社会人入試	一般入試
80名	定員の50%程度			定員の50%程度

2. 出願期間・試験日・合格発表

区分	出願期間	試験日	合格発表日
特別推薦	令和元年9月24日（火） } 令和元年10月8日（火） 消印有効	令和元年11月6日（水）	令和元年11月25日（月）
推薦			
社会人			
一般	令和元年12月16日（月） } 令和2年1月6日（月） 消印有効 ※ A日程 B日程いずれか一方を選択	A日程 令和2年1月21日（火） B日程 令和2年1月23日（木）	令和2年2月10日（月）

3. 試験科目・試験時間

区分	試験科目	時間
特別推薦	面接	9:00～12:30
推薦	国語総合（古文・漢文を除く） 現代文B グループ面接	9:15～10:15 10:30～17:00
社会人	国語総合（古文・漢文を除く） 現代文B・小論文 個人面接	8:45～10:15 10:30～17:00
一般	国語総合（古文・漢文を除く） 現代文B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ 数学Ⅰ ※一般入学試験は全科目、全問マークシート方式です グループ面接	9:00～9:50 10:15～11:05 11:30～12:20 13:00～17:00

詳細は独立行政法人国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校のホームページにてご確認ください。

ご不明な点は以下にお問い合わせください

独立行政法人国立病院機構呉医療センター附属呉看護学校
 TEL 0823-22-5599（土日祝日を除く 9:00～17:00）

呉医療センターへご寄付をいただきました。

今年1/1～3/31の間にご寄付を エーザイ株式会社 後藤病院様 星野クリニック様 ほか匿名1名からいただきました。
 当院において患者さんのために使用させて頂いております。ありがとうございました。

編集後記

今回は人事異動に伴います新採用者や看護学校の入学式など、春の恒例行事を中心に紹介させていただきました。スタッフの異動により、色々ご迷惑をおかけすることもあります。令和の新時代も、これまで同様、当院としてなすべき医療を実践してまいります。何卒よろしくおねがいいたします。
 （広報委員会 委員長）